

## 2025年度アドバイザーボードミーティング議事概要

日時：2026年2月27日（金）17:00～19:00

場所：駿河台キャンパス 401号室

出席者：アドバイザーボード（9名）、教員（12名）、事務局（5名）

欠席者：4名

資料1 2025年度アドバイザーボードミーティングの開催について（ご案内）

資料2 戦略経営研究科アドバイザーボードに関する内規

資料3 中央大学ビジネススクール戦略経営研究科紹介（プレゼンテーション資料）

開会后、アドバイザーボードメンバーの自己紹介をいただいた。続いて、遠山研究科長が資料3に沿ってCBSの取り組みについて説明し、その後以下の点について、意見交換を実施した。

- ・生成AIなどによりビジネス環境が大きく変化する中で、今後のMBAに求められるのはどのような能力か。
- ・そのような能力を育成するために必要な教育とはどのようなものか。
- ・CBSと産業界のさらなる連携促進には何が必要か。
- ・今後のCBSのさらなる国際化には何が必要か。
- ・CBS 20周年にむけて。

### <主な意見・議論内容>

1. 生成AIなどによりビジネス環境が大きく変化する中で、今後のMBAに求められるのはどのような能力か。
  - ・仕事の多くをAIが代行できる時代だからこそ、広範な社会理解に基づき、ビジネスのチャンスに繋がる「筋の良い問い」を投げかける能力が必要である。
  - ・AIの回答をそのまま鵜呑みにするのではなく、前提条件にバイアスがないか疑ったり、論理的に正しいか、検証したりする力が不可欠である。
  - ・AIに代替できない人間力やこれからの時代に必要なリーダーシップ。
2. そのような能力を育成するために必要な教育とはどのようなものか。
  - ・倫理、哲学、宗教、心理学や行動心理学を学び、人間とは何か、何のためにビジネスをするのかなどの問いが重要である。
  - ・歴史、今の社会のルール、これから変えるべき課題という順番で知識を積み重ね、「社会への理解」を深める教育が必要である。
  - ・AIを優秀なセールスマンや論理詰めで反論してくる経営者に見立て、数人の学生チーム

で挑ませるような「実践的なロールプレイング」が有効である。

- ・コンプライアンスを単なる法律違反の有無ではなく、法律の背景にある目的を理解し、何が正しいのかを考える教育が重要である。

### 3. CBS と産業界のさらなる連携促進には何が必要か。

- ・ビジネスマインドを養うため、スタートアップセミナーなどの活動に積極的に参加し、知識を得て、経験を積むことが必要である。
- ・社会とのつながりを体験・実感できるような環境をより充実させ、日本を深く学び、その良さを海外へ発信できる力が必要である。
- ・ビジネススクールの教育や教員の研究を含め、社会への貢献を強化する必要がある。

### 4. 今後の CBS のさらなる国際化には何が必要か。

- ・日本と海外の違いや特異点をきちんと言葉にして説明できるよう、各基礎科目の中に、グローバルの側面を取り入れる。
- ・日本のファイナンスや HR、マーケティングについて、特異点を語る「エキスパート」を育成する。
- ・シリコンバレーやベトナム、タイなどの現地現場を通して、「世界には多様な国々がある」ことを学生に感じていただく機会を継続的に提供する。
- ・海外フィールドラーニングでの気づきや経験を次年度の参加者へ学びとして繋いでいく。

### 5. CBS 20 周年に向けて。

- ・20 周年という大きな節目に、歴代の修了生全員を呼び集めるようなホームカミングデーを開催し、知見が交わる場があるとよい。
- ・修了生は 1,500 名ほどになる計算であり、こうした方々の知見が交わる場を作ることは大学にとって「かけがえのない財産」である。
- ・「ビジネスの起点は自分の思いである」という情熱を大切にしてほしい。

以上